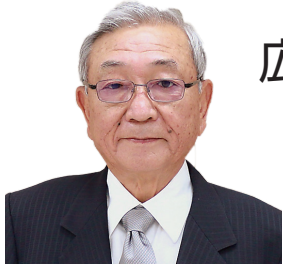


海岸まちぢから

創刊号

住んで良かったまちづくり

発行日 平成30年8月1日 創刊号
発行人 海岸地区まちぢから協議会
会長 林 正明
問合先 市役所市民自治推進課
TEL 0467-82-1111 (代)
印刷 ストリートファクトリー



広報紙発刊に寄せて

海岸地区まちぢから協議会
会長 林 正明

気持ちの良い夏を迎え、海岸地区の皆様には、湘南茅ヶ崎を満喫されていることでしょう。

「海岸地区まちぢから協議会」も今年度で三年目を迎えました。過去二年間の活動といたしましては、市民集会、地域防災訓練、高砂緑地での梅まつり等の行事を充実させるとともに、平成29年度から地域全体での感震ブレイカーの普及、設置活動を実施しております。

このたび、海岸地区として平成30年度認定コミュニティ特定事業助成金の最初の事業認定を受けて、待望の広報紙の発行に至りました。今後、年数回(2~3回)程度を目標にして、地域の皆様に各種情報や行事予定、活動報告等、充実した広報紙を発行して参りたいと思います。

当地区まちぢから協議会の活動を充実させるべく、認定コミュニティ特定事業助成金を大いに

活用して、地域の皆様に「住んでよかった、これからも住み続けたい」と感じていただける様な、安全、安心、楽しい地域づくりを目指します。

具体案といたしましては「海岸地区まちぢから協議会広報掲示板」設置事業、東日本大震災以後7年間以上実施されていない「盆踊り」の復活(平成31年目標)、防災・クラスター火災対策等です。また当地区には多人数(100人以上)を収容する公共施設がありません。これは長年の課題で市民集会においても強く市に要請しておりますが、土地や予算の問題があり、あまり前進していません。根気よく諦めずに訴え続けていきたいと思ひます。

これからも、地域の皆様のご協力をいただきながら、より住みよい地域づくりを進めていきたいと思ひますので宜しくお願ひいたします。



海岸地区まちぢから協議会組織図 (平成30年5月現在)



なぜ今、まちぢから協議会が必要なの？

まちぢから協議会とは一言で表現すると、地域の皆様が自らの地域のことを話し合う「協議の場」です。

地域には、自治会をはじめ、各種団体（下図参照）が地域の住民同士の親睦を深め、より良い地域社会の創造と住みよい環境づくりを目指し、地域活動に取り組んでいます。まちぢから協議会を設立することにより、地域において団体同士の日頃から顔の見える関係や、団体相互が連携することにより、各団体での困り事や悩み事を共有したり、地域ニーズを把握したりすることが可能となります。各団体が一つのテーブルを囲み、共通のテーマや課題を話し合うことにより、新たなアイデアを発掘するなど、地域がより良い方向に進むことができる制度です。

○取り組みを進める背景

なぜ、これからの時代に、まちぢから協議会の取り組みが必要なのか、これは茅ヶ崎市に限ったことではありませんが次の3点が大きく影響しています。

①社会経済状況の変化、少子高齢化

子どもが減り、生産人口と言われる現役世代の減少が推計で明らかとなっています。加えて、高齢者がますます増加することによって、新たな課題が増えてきます。

②地域社会への帰属意識の低下

社会的な価値観の変化により、大家族だった家族形態が変わり、核家族化が進んでいます。また、社会的な価値観の変化により、個人の意思がますます尊重される時代のなかで、自治会やテーマごとに組織されたコミュニティへの加入といった帰属意識が低下しています。昭和54年に自治会の加入率は、ほぼ100%であったものが、直近の自治会加入率は、75%台まで低下しています。

③地域課題の多様化・複雑化

価値観やライフスタイルの多様化、自然災害、悪質な振り込め詐欺など新たな課題へ、多角的な視点で対応していかなければならない時代になりつつあります。前述のとおり、単独の自治会や目的別の各種団体、そして個人では解決できない課題が増えています。市内全域への一律な公共サービスに加え、地域特有の課題・ニーズに対応していかなければなりません。

住んでいる地域のことを一番理解し、住みよい環境に必要なことは何かを考える上で一番大切なのは、その地域に係わる市民の皆様の意見でなければなりません。皆様が、自分たちが暮らす地域のことを「自らのこと」として捉え、自ら行動し、一人ひとりが当事者意識をもって取り組むことが必要であり、それが、その地域を良くしていこうという「地域の力」の向上に繋がるのです。

地域内の様々な分野で取り組みを進めてきた各団体、そして地域にお住まいの皆様が力を合わせて「地域の力」を発揮する、このことによって、地域の課題を共有し、自分たちで解決できる課題は自分たちで解決していく場こそが「まちぢから協議会」なのです。（市役所市民自治推進課）

まちぢから協議会と各種団体の関係



- まちぢから協議会の中で各種団体は対等な関係
- 共通する地域課題を共有し、協力して取り組む
- まちぢから協議会は、地域におけるコーディネート機能を有する発信地としての役割を担う

平成30年度運営委員一覧

役職	氏名	所属
会長	林 正明	東海岸北二丁目自治会
副会長	真野 宗直	東海岸南三丁目自治会
副会長	鈴鹿 隆司	海岸地区社会福祉協議会
書記	今泉 勲	東海岸小学校区 青少年育成推進協議会
会計	小島 茂	東海岸南五丁目自治会
監事	渡辺 功	東海岸北一丁目自治会
監事	石井 正憲	東海岸南一丁目自治会
委員	米井 博之	東海岸北三丁目自治会
委員	渡辺 末一	東海岸北四丁目自治会
委員	三橋 士郎	東海岸北五丁目自治会
委員	瀧 且裕	東海岸南二丁目自治会
委員	加嶋 武彦	東海岸南四丁目自治会
委員	安達雄之輔	東海岸南六丁目自治会
委員	小林 正尚	パシフィックガーデン 茅ヶ崎自治会
委員	丸山 泰	海岸地区民生委員 児童委員協議会
委員	原 京子	茅ヶ崎小学校区 青少年育成推進協議会
委員	加藤 大嗣	東海岸地区体育振興会
委員	山田 敏夫	海岸地区コミュニティセンター 管理運営委員会
委員	福岡 祐子	地域包括支援センターあい
委員	山本 幸子	ボランティアセンター海岸
委員	福井 正恵	公募委員
委員	山田 秀砂	推薦委員
委員	登尾 泉美	推薦委員



海岸地区コミュニティセンターでの運営委員会

平成29年度決算報告・平成30年度予算

【収入】

(単位：円)

項目	29年度決算	30年度予算
前年度繰越金	78,246	68,068
認定コミュニティ助成金	250,000	250,000
防災訓練補助金	210,000	210,000
防災訓練自治会分担金	116,000	116,000
合同新年会会費等	195,500	190,000
梅まつり売上金等	368,175	400,000
計	1,217,921	1,234,068

【支出】

(単位：円)

項目	29年度決算	30年度予算
事務費	36,254	35,000
会議費	44,529	50,000
広報啓発費	29,829	100,000
事業費	952,386	999,068
小計	1,062,998	1,184,068
市への返還金	86,855	0
次年度繰越金	68,068	50,000
計	1,217,921	1,234,068

平成30年度事業計画

1. 新規事業

① 感震ブレーカー設置事業

年度内1,600個設置を目標に、自治会毎に推進します。

② 盆踊り復活検討

来夏の開催を目標として、開催の可能性を検討します。

③ 広報紙の発行と掲示板設置検討

自治会未加入者も含め、地域にお住まいの方全員へ情報の伝達をはかるため、広報紙の発行と地域内に掲示板の設置を検討します。

2. 継続事業

実施予定	事業項目	開催場所
10月6日	市民集会開催	福祉会館
10月27日	防災訓練開催	東海岸小学校
2月11日	梅まつり開催	高砂緑地、松籟庵

*役員会、運営委員会を毎月開催

市民集会にご参加ください!

市民集会とは、市民と行政が地域に係わる諸問題について意見を交換し、より良いまちづくりに資することを目的とした会合です。平成29年度では10月7日(土)に福祉会館で開催されました。

地区内市民 63名、県・市議会議員 5名、市長・行政職員 22名 合計90名が出席し、活発に意見を交換しました。

本年は10月6日(土) 13時30分から、福祉会館で開催されます。地区住民の方は参加自由ですので、気軽にご参加ください。

なお、昨年の市民集会での質疑内容は、海岸地区まちぢから協議会のホームページ「最近の投稿」に掲載していますのでご覧ください。

ホームページのアドレス

c-machi.sakura.ne.jp/wp/kaigan/



福祉会館での市民集会



市民集会には市長も出席



防災訓練での応急手当の指導



梅まつりのとん汁調理

部会員募集!!



現在、海岸地区まちぢから協議会には、広報部会、防災安全部会、イベント企画部会の3つの部会があります。これらの部会は、協議会の運営委員以外の地域の皆さんのお力を必要としています。参加の条件は地域にお住まい、あるいは通勤・通学されている方ならどなたでもご参加いただけます。

写真が趣味、HPや広報紙の編集、イベント企画の経験がある、防災に関心がある方など、まちぢから協議会の活動に興味をお持ちの方は、是非ご参加ください。ご参加いただける方は、市役所市民自治推進課にご連絡ください。

市役所市民自治推進課 TEL 0467-82-1111 (代)

編・集・後・記



ようやく広報紙の発行に漕ぎつけました。まちぢから協議会は自治会に加入されていない方も対象です。そのため、情報の伝達には色々工夫が必要です。ホームページの活用もその一つですが、パソコンを利用していない方も少なくありません。広報紙の発行がどうしても必要です。

「海岸まちぢから」が地域の皆さんを繋ぐ、大切な情報源になるよう努めてまいりまので、ご意見をお寄せいただくなど、ご支援、ご協力をお願いいたします。(M.M.)